

6月定例会 一般質問

# 村政を問う

一般質問とは定例議会において、各議員が住民の代表として行政全般にわたり村当局の考え方や疑問をたずねることです。

また、議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。

今回は、5人の議員が登壇しました。

| 質 問 者 | 質 問 事 項                        | ページ  |
|-------|--------------------------------|------|
| 荒川 英義 | ① 地域経済の活性化に向けた支援策は             | 8    |
| 遠藤 正彦 | ① G I G Aスクール構想について            | 8    |
| 水野 一彦 | ① 生活困窮者の支援策は                   | 9    |
| 高橋 七重 | ① 「協働の村づくり」は継続できるか             | 9～10 |
|       | ② 行政区ごとの避難計画は急ぐべき              |      |
|       | ③ 「個別施設計画」からみる使用されていない公共施設の今後は |      |
|       | ④ 本村の実態を知り対策を                  |      |
| 三本松和美 | ① 防火水槽設置工事と消防搭載車更新について         | 11   |
|       | ② ひらたこども園周辺の防災対策について           |      |
|       | ③ 日常生活に支障のある方(高齢者等)への支援について    |      |

## Q 地域経済の活性化に向けた支援策は



荒川 英義 議員

新型コロナウイルス感染症拡大による対応の長期化に伴い、各業種とも大変厳しさを増している現状である。村としても社会経済活性化に向けた取り組みが必要。

- ① 村内経済活性化に向けた具体的な支援策は。
- ② 農家への支援策は。
- ③ 大型入札工事で村内業者の受注件数増加につながる取り組みは。

## A 各種交付金を活用し活性化を図る

### ▼総務課長

- ① 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金第3次補正を活用し、28事業1億927万8千円を計画している。

主なものでは、地域経済活性化プレミアム商品券事業2千210万円、休業要請協力金・支援金、経営持続化支援給付金、事業継続支援金、雇用調整助成金申請費用支援事業953万8千円の経済対策のほか、感染対策強化事業、PCR検査委託事業の642万4千円等である。

なお、前年度に引き続き、介護保険料、国民健康保険税などの減免も行う。

### ▼産業建設課長

- ② 水田経営活性化補助金360万円を計上し、経営所得安定事業は前年度までの助成金に上乗せで10a当たり5千円の拡大加算金の創設。

また、園芸品目を含む農作物全般の販売収入の減少を補填する収入保険制度について農業共済組合と連携し加入促進を図っている。

### ▼総務課長

- ③ 村内事業者が受注できるよう平田村一般競争入札実施要領に「施工に際し下請け発注する場合は、平田村内業者を優先して活用するよう努めること。また下請発注する場合は適正な価格で請け負わせ、下請代金を適正な期間内に支払うことなど建設業法等の関連法令を遵守すること。」と明記している。今後、保健センター・公民館複合施設建設も同様に村内業者が受注できるよう努める。



## Q GIGAスクール構想について



遠藤 正彦 議員

- ① 本村におけるGIGAスクール構想の具体的なイメージと現在の進捗状況は。
- ② 導入が完了している自治体でも端末の持ち帰りについての対応は分かれているが、本村ではどのように考えているのか。
- ③ 導入期の今日、通信ネットワークの整備や教職員の負担増は容易に察しがつく。その他にどのような課題があるのか。

## A タブレットの活用を推進

### ▼教育課長

- ① 各学校に児童・生徒・教職員1人1台ずつタブレットを配備し、1学期中には端末を活用した授業を実施したい。
- ② まずはタブレットを活用した授業の実施を重ね、児童生徒に取扱いや使用方法等をしっかり身に付けさせ、学校現場と協議しながら持ち帰りの時期を検討していきたい。
- ③ 教職員のICT教育に関する多忙化を解消するため、ICT教育支援員1名を村独自で配置し、教職員の相談やそのサポートにあたっている。

## Q 生活困窮者への支援策は



水野 一彦 議員

行政は、税金の納税相談や、臨戸徴収の際に生活実態を把握できると思う。

状況に応じての初期の相談支援が最も重要であると考えているが、生活困窮者のSOSサインの見つけ方、また、支援策をどのように考えシミュレーションしているのか。

## A 状況に応じたサポートを

▼税務課長

納税相談時の状況により、困りごとを抱えているサインを初期の段階で見極め、関係課との連携を図り支援につなげていきたい。

▼健康福祉課長

生活保護や就労サポート、社会福祉協議会の貸付、高額医療の申請など丁寧に相談に乗り対応している。

また、来所のみでなく、県中保健福祉事務所やサポートセンター、社会福祉協議会職員なども同席し訪問対応も行っている。



## Q 「協働の村づくり」は継続できるのか



高橋 七重 議員

「協働の村づくり」の作業がいつまで続けられるか心配。今後、村として何らかの対策が必要と考える。行政区において道路整備作業等の継続が困難になった場合、今後の村としての対策は。

## A できる限り住環境整備作業に協力をお願いしたい

▼産業建設課長

本活動は環境美化を住民が協働で行う村民によるボランティア活動で、地域コミュニティとしての役割も担っている。

将来的に取り組みが困難になってきた場合村で行うこととなるが、できる限り自治精神をもって住環境の維持向上に理解と協力をお願いしたい。

## Q 再 この作業が続けられなくなるのは時間の問題。今から対策が必要。村で雇用する道路作業員を増員して作業にあたらせ景観を維持してはどうか。

再 A ▼総務課長

自分たちができるうちは、この協働作業を残

し、人件費及び人員抑制をしながら住環境を維持していかなければならない。

Q 再々 できなくなってきたからではなく今から考えておくべき。一時的に作業員を増員し作業してもらいなど地域以外の人の手が入らないと維持できないと思うが。

再々 A ▼村長

現在行っている道路愛護作業は住環境の維持だけでなく、コミュニケーションを図る場としての意味もある。自分たちの住んでいるところの整備を自分たちで行うボランティア精神を残したい。



鍋子地区の花植え作業

**Q 行政区ごとの避難計画等の  
情報共有は急ぐべき**

感染防止対策を徹底し、小さな集まりを開き、住民間の災害時の避難方法などについて情報を共有すべきではないか。

**A 状況を見て速やかに  
開催していく**

▼総務課長

地域における「助け合いの仕組みづくり」や「みんなで支えあう体制づくり」を整備し、地域防災力の向上を図ることが特に重要。有事の際には迅速な確認及び対応ができる体制を整備していくことが必要。

今後住民が安心して参加できるようになったら速やかに開催していく。

**再Q** コロナが落ち着かないと出来ないということか。完全な対策をして小さな班単位で開催できないか。

**再A** ▼総務課長

地区単位で各種団体との情報共有は大変重要。隣保班単位ではなく行政区単位で開催したい。

**Q 「個別施設計画」からみる使用され  
ていない公共施設の今後の利  
活用は**

① 使われなくなった公共施設の利活用は。  
② その公共施設の個別施設計画での位置づけは。

**A 施設の現状を把握し検討**

▼企画商工課長

① 総合計画との整合性を図りながら庁内プロジェクト会議等で検討中。持続可能な地域社会を構築していくため、施設の現状を十分把握し検討したい。

② 個別施設計画では長期的な視点から更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行い、財政負担を軽減、平準化するとともに公共施設の有効活用に取り組むことが示されている。

**Q 本村の実態を知り対策を**

① 本村のヤングケアラーの実態は。  
② 生理の貧困問題について本村の児童生徒の実態は。  
③ L G B Tに関する調査をしたことがあるか。あるならばその後の対応は。

**A 調査は検討したい**

▼健康福祉課長

① ケアマネージャーに確認し、一人もいない。

▼教育課長

② 村内各学校に確認し、本人や家族から相談もない。

▼健康福祉課長

③ 調査していないので実態は不明。

**再Q** 生理の貧困問題は中々実態が見えにくい内容。きちんと調査すべき。

**再A** ▼健康福祉課長

調査は検討したい。まずは周知が必要と考える。広報ひらた等で周知したい。

**① ヤングケアラー**

家族に病気や障害をもつ人がいて、そのために家事や介護を担っている18歳未満の子どものこと

**② 生理の貧困問題**

女子中高生から大人の女性まで生理用品を買うお金がない、または利用できない環境にあること

**③ L G B T**

セクシャルマイノリティ  
【性的少数者】を表す言葉の一つ







三本松 和美 議員

## Q 防火水槽設置工事と消防搭載車更新について

3月議会定例会の議案審議で、消防搭載車の更新と防火水槽設置事業を石油貯蔵施設立地対策等交付金で進めるとの答弁あり。  
防火水槽設置工事と消防搭載車更新を計画通り進めることができるのか。

## A 第5次平田村総合計画後期基本計画に基づき進めていく

▼総務課長

総合的な消防力を向上させるため、機能や性能の見直しを行い消防搭載車の導入年度や利用状況を踏まえた年次計画を立案し計画的に実施していく。  
併せて防火水槽の整備も住民の生命と財産を守り、安心して暮らすことのできる地域づくりのため消防水利の適正配置に努める。



## Q ひらたこども園周辺の防災対策について

ひらたこども園周辺の防災対策として、今後上流部分の水田地帯を調査し、住民の理解を得ながら臨時的に遊水地機能を持つ構造になるよう整備し、水位の調整ができるような防災対策ができないか。

## A 各関係機関と検討していく

▼産業建設課長

こども園やよもぎ荘の上流部に水位の調整ができる設備を設置した場合、緊急放流や地震による決壊がないとは言いがたえず、むしろ下流域の甚大な被害も考えられることから、その効果と大型事業の財源について深慮したい。

## Q 専門家に地形的なものを見てもらうのにそんなにお金はかからないのではないか。

▼産業建設課長

現在、河川断面の改修及び上流部の堆砂除去等の作業しているところ。県にはそれらをまず強く要望していく。

## Q 調査をしたり、専門家の意見を聞いてみたりを検討してはどうか。

▼産業建設課長

各関係機関との会議の際に諮り、検討していく。

## Q 日常生活に支障がある方（高齢者等）への支援について

- ① 村には「平田村ちよこつと助け隊」名称の支援団体があるが、現在の会員数は。
- ② 利用されている方及び世帯はどのくらいか。
- ③ 活動内容により有償の内容もあるが、その料金に対して、村が助成するなどの支援をしては。

## A 気兼ねなく利用できるような低額の料金設定をしている

▼健康福祉課長

- ① 64名。
- ② 令和2年度実績で無償の件数は延べ606件、有償は76件。内実際にお金をいただいたのは20件。
- ③ 有償ボランティアは30分以上60分未満で400円。付き添い支援等はガソリン代ももらっていない。利用する方が気兼ねなく利用するために定額の料金で設定した。



ひだまりカフェ